

文部科学省 平成28年度大学教育再生戦略推進費
「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択

「慢性疼痛患者の生きる力を 支える人材育成」 キックオフ・セミナー

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムとして名古屋市立大学の『慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成』事業が採択されました。この事業では、慢性疼痛を深く理解し、苦悩する患者さんを援助することのできる多職種の医療人の養成に取り組みます。また、附属病院には、多職種で集学的に慢性痛に対応する「いたみセンター」を設置しました。これにより集学的なチーム医療が実践でき、1人でも多くの患者さんによりよい治療の提供ができると考えております。

この取り組みが他の地域でも展開されるよう、その成果を広く発信するためキックオフ・セミナーを下記のとおり開催いたします。

2017年1月29日（日） 《参加無料》

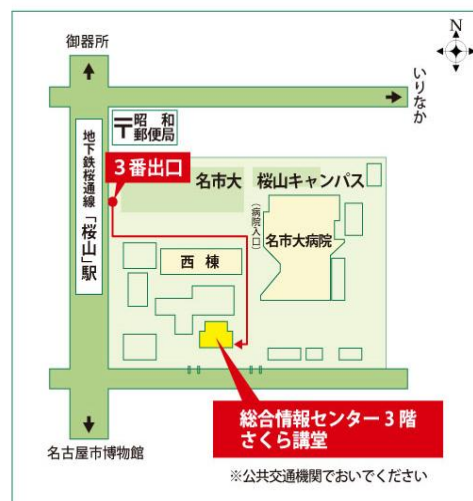
13:30～15:30

会場/名古屋市立大学 桜山キャンパス

さくら講堂

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

対象/興味のある方ならどなたでも
自由にご参加できます



【セミナー】

「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」

1. 本事業の概要
2. いたみセンターの取り組みについて
3. 特別講演「なぜ今？慢性痛対策が重要なのか？」

大阪大学大学院医学系研究科

疼痛医学寄附講座 教授 柴田 政彦 先生

主催：名古屋市立大学

お問い合わせ：医学部事務室 TEL 052(853)8078